

## 第17回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成30年2月22日 (木曜日) 13:30～14:40  
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 特別養護老人ホームご家族代表  
小規模多機能型居宅介護ご家族代表  
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員)  
長岡市栃尾支所市民生活課  
グループホームサンホーム施設長  
地域包括支援センターとちお  
法人代表 (いずみ苑園長)  
特別養護老人ホーム管理者  
グループホーム管理者  
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 10名

欠席者 特別養護老人ホームご利用者代表  
長岡市介護保険課  
知見者代表 (地域密着型複合施設わしま)  
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)  
法人代表 (いずみ苑事務長) / 計 5名

欠 員 グループホームご家族代表  
グループホームご利用者代表  
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表 / 計 3名

## 議事次第

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について  
特別養護老人ホーム  
グループホーム  
小規模多機能型居宅介護
2. 事故及びヒヤリハットの報告について
3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について（総括表の確認）
4. その他

## 開 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ただいまから第17回運営推進会議を始めます。

本日の欠席は、知見者代表地域密着型複合施設わしまさん、長岡市介護保険課さん、地域住民代表（栃尾宮沢区長）、法人代表（いずみ苑事務長）、特養入居者代表が欠席です。よろしくお願ひします。

本日、グループホームサンホームさんがオブザーバー参加です。また、長岡市栃尾支所 I さんが今回初めてとなりますので2人から一言づつ頂戴したいと思います。

グループホームサンホーム様

この会議には以前からお誘いがありましたが、今回初めて出席させていただきました。私どももグループホームを持っています。いろいろと参考になるものが沢山あると思いますので良いところは取り入れて運営に参考とさせていただこうと思います。よろしくお願ひします。

長岡市栃尾支所市民生活課

いつもは、別の者がお世話になっておりまして、今日は急用ができましたので代理で出席させていただきます。よろしくお願ひいたします。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

資料は、本日お配りしたのが14ページのもの一つです。それと事前に小規模多機能管理者から送らせていただいたものがありますのでお願ひします。

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況は、1ページから3ページです。普段のようすを小規模多機能とグループホームの各管理者からスライド中心に説明したいと思います。

### 1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について

○ みやざわ苑行事等経過… 資料に沿って説明する（P 1～P 3）

グループホーム管理者

12月から1月、2月で主だったものを上げてみましたのでご覧ください。（スライドと資料で説明）

小規模多機能型居宅介護管理者

小規模多機能の紹介です。冬の行事は寒かったり、地域でインフルエンザの流行もありますので建物内での活動が中心になります。お手元の資料の1ページ目に参加人数が記載してありますので参考にしていいただければと思います。（スライドと資料で説明）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

昨日この場所で夕方4時と7時に、合わせて25名が参加した事故防止研修を行いました。時間の関係で特養の映像は次回に紹介させていただきたいと思います。  
本日2月22日現在の在籍者の状況です。特別養護老人ホーム定員29名、現在員29名です。平均介護度3,9です。

小規模多機能型居宅介護管理者

前回12月の会議後、登録者1名減です。1名がグループホームに入居しました。もう1名の方は体調を崩して入院され、現在お住まいのところで在宅での生活が難しいとのこととで解約になりました。新規契約1名ありましたので登録者数は現在16名です。平均介護度は1,9です。

グループホーム管理者

グループホームは、要介護3になられた方1名が特養に入居し、小規模から1名入居されましたので現在満床の18名です。平均介護度は1,9となります。

## 2. 事故及びヒヤリハットの報告について

○ 平成29年度事故発生状況調べ… 資料に沿って説明する（P 4～P 13）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

今回は、12月と1月の事故及びヒヤリハットです。傾向としましては、特養のヒヤリの件数が増えました。内容は転倒及び転落で車いすから滑り落ちた、ベッドから降りていたものです。

グループホームは、転倒のヒヤリ2件、事故1件でした。時間帯は、グループホームの皆

さんが活動している日中の12時から19時の間の転倒。特養につきましては、特定の時間帯という訳でもなく深夜にもベッドから降りていたということがありました。

個々の状況は、12ページ、13ページです。特養については、転落及び転倒が合わせると5件。内容は個人ID21番の方は、転落が怖いのでセンサーを使用していましたが、センサーの設置が無いところから降りられましたのでセンサーの位置を工夫しました。個人ID97番、105番の方はかなりしっかりされている方です。単独で動かれると転ぶこともありますので職員をコールボタンを押して呼んでいただくようにご本人にお願いしております。個人ID4番の方もコールボタンで職員を呼んでもらうようお願いしました。

先ほどの個人ID105番の方は、ポータブルトイレの設置をタイミングが良いときにしないと職員に気を遣うのか、動かれてしまうところがありますので、危ないときにはポータブルトイレを届かないところへ離させていただきます。最後の個人ID100番の方はベッドから転落もありますが、ベッド上に立ち上がることもありまして、ベッド自体がリスクがあるということで、ベッドから畳への対応をご家族と相談しながら変更しました。特養につきましては以上です。

#### グループホーム次長

グループホームは3件です。1番上の方はヒヤリハットです。書道をした後に廊下に新聞紙を敷いて乾かしていたところ、その作品を眺めていたらバランスを崩して後ろの方へ尻もちをついたということです。改善策としては習字の作品を床に並べずに乾かすとししました。その際に家から持ってきた靴が大きかったので、本人に合った靴を購入させていただくように家族とお話しして、今はサイズの合った新しい靴を履いていただいています。日頃から歩行も安定していた方でしたが、不意な動きをされたときにバランスを崩すのではないかと思われるので、出かけた時にはユニット内からようすを見て気をつけるようにしています。次の方は服薬の事故です。この方自身は抑肝散という精神安定剤を朝・夕に飲まれる方でしたが、職員が他の職員がカウンターに出していたものを、本人のものと思い込んでしまい、そのまま飲ませたものです。改善策は、必ず薬のケースを持って、本人のところで薬ケースの名前を確認しながら飲んでいただくことを徹底しました。最後の方はヒヤリハットで、リビングのところで3人が並んで座っていたところ、何か思うことがあったのか、立ち上がって後ろの方へ出ようとしたところ、イスの足に足が引っかかって尻もちを付いた感じになります。職員が隣に座っていましたが、どうしたいのか分からなそうにしていたので声を掛けたのですが、行きたい気持ちが先になって動かれたので、改善策としては職員の方で察して広くスペースを取るよう職員に意識づけするように徹底しました。グループホームは以上です。

#### みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

事故についてサンホームさんの取組みと状況を教えていただきたいのですが。

グループホームサンホーム施設長

お互いにいろいろなやり方とかあると思いますが、そんなに私どもと食い違いが無いようです。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

行政から見てどうでしょうか。

長岡市栃尾支所市民生活課

グループホームで他の方の薬を管理するということは気持ち的に心配するところがあると思いますが、薬については十分注意してほしいと思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養の転倒、転落について、安全を優先しすぎてしまうとご本人たちの活動性や運動量が低下してしまうというところもありまして、その部分が難しいところなんですけど、12月、1月はこのような状況になりました。

地域住民代表（栃尾宮沢区民生児童委員）

特養の方ですが、転倒とか転落を見てみると、夜が多いのかなと感じます。19時を過ぎると職員の方も減るわけですので、全員に目を当てている訳ではないので、これ位はとっては悪いのでしょうかけれど、私はしょうがないんじゃないかなと思います。

特別養護老人ホームご家族代表

起こすなどというのは無理なんですから、それよりも起きたらその都度、職員の方が今回はこうだからこの次はここを気をつけましょうということで、一つひとつ積み重ねていくしかないのかなと思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

小規模、グループホーム、特養とやっていて、それぞれ違う事業ですが、他のところで起きたものを同じ建物内で知らないでいるということも具合が悪いものですから、事故があったということは職員間で共有をしています。ありがとうございました。

### 3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について

- 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表…資料に沿って説明する

## 小規模多機能型居宅介護管理者

皆様にお配りしてあります小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表をご覧ください。前回、皆さまから評価していただいたもの、A～Fの項目で「感じたこと」「もっとこうの方が良いのではないか」といろいろ意見をいただきました。その後に職員が考え作ったものがこちらの総括表です。

法人・事業所の特徴ですが、『共に生き、共に育み、「尊敬の心」「感謝の心」「謙虚な心」のサービスの提供に務めます』が法人全体の方針です。小規模多機能は居宅ですので『自宅での生活の継続を望む方が、家族・地域との関係を断ち切ることなく、これまでと同じように地域で共に生活が送れるように支援していきます』となります。

「項目」のところは、A～Fまで6つの項目です。隣の「前回の改善計画」のところは昨年度立てた改善計画です。その隣の「前回の改善計画に対する取り組み・結果」は、改善計画を職員で実行した結果・感想です。その隣の「意見」のところは、前回の運営推進会議で皆さまからいただいた意見です。それを踏まえまして「今回の改善計画」を立てました。

それでは順番にAの項目から説明します。

A「事業所の自己評価の確認」は、事前に職員が事業所の自己評価を立てたものを皆様からご覧いただきましたが、前回の改善計画に対する取り組み・結果です。勉強会はできなかったが、定期的にミーティングで改善策と進捗状況について確認しながら取り組んで行くことができたのではないかとことで上げました。皆さまからは、事業所の自己評価・確認のところで、いろいろと改善されていて良かったと思うと意見もありましたが、項目によっては、あまりできていない、もしくはできていないにチェックが付いているのが残念。今後の課題になると思う。と意見をいただいています。今回の改善計画では、すぐに取り掛かれるもの、時間を有するものに分類し、定期ミーティングで情報共有を元に、バランスを取りながら進めていくとしました。

B「事業所のしつらえ・環境」についてです。前回の改善計画に対する取り組み・結果ですが、玄関がちょっと煩雑だったということで、整頓チェック表を作成し、定期的に整理整頓を行うことができました。1階の交流スペースの飾りつけや利用者作品の展示で良い雰囲気にすることができたと思います。季節に応じた飾りつけができました。皆さまからは、飾りつけはいい雰囲気になっていると思う。利用者の作品展示も良かった。もっとアピールできるとより良い。と意見をいただいています。また、事業所のしつらえ・環境ですので、職員だけでなく来苑した方に評価をしてもらってもいいのではないかと意見もいただいております。今回の改善計画ですが、面会で来苑された方、特養やグループホーム等に面会に来られた方にアンケートの協力をお願いしたいと思い、上げさせていただきました。来苑時においてお願いして帰る際に回収させていただく。記入の際に負担にならないように簡潔に書けるものを用意することで、回収もすすみが良いのではないかと推測し、改善計画を立てました。

C「事業所と地域のかかわり」です。前回の改善計画に対する取り組み・結果ですが、定期的な広報誌の作成と回覧板でのアピールをすることができました。交流スペースでの活動

は行えたが、地域の方への働きかけができていなかったと意見がありました。皆さまから地域ということもあり言葉遣いに対していろいろと意見をいただきましたが、標準語ばかりでなく、方言の方が地域という感じが出るのではないかと。常識の範囲内で行えば良いのではないかと。という意見もありましたし、逆に方言はどうか？という意見もあると思う。なかなか難しい問題だと思います。という意見もいただきました。今回の改善計画ですが、地域との関わりですので、こちらからの発信、こちらから地域との関わりをもっと持って行かなければならないのではないかと。ということです。利用者の手作りの作品について、施設内での展示や文化祭への出展などにはありましたが、例えば雑巾や日常生活品などは便利で使ってもらえると思いますので、近隣の保育園などにお配りして、地域や世代間の関わりの機会を増やしていこうと改善計画を立てました。

D「地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み」です。結果ですが、地域での活動の継続はできたが、関わりを深めるまでには至らなかった。実際の相談には至らなかったが、広報誌で地域の相談窓口であることのアピールは今も継続しております。地域の事業所(小規模多機能)としての参加になっていると思うが、利用者個々として個人的な関わりを持って行ったらどうかという意見をいただいております。改善計画ですが、今までどおり地域行事、イベントへの参加を継続して行くことはもちろんですが、今後は、地域のお店、例えば昔よく買い物をしていたお店とか、よく食べに行ったお店とかに買い物や食事のツアーを計画・実施し、馴染みのある場所との関わりを増やしていけたら良いのでは計画と立てました。

E「運営推進会議を活かした取り組み」です。取り組・結果について、資料に地域行事や外出の参加人数を入れたが、感想の記入や評価といったところで分かりにくかった。記入など不十分なところもあり、今後も検討・改善していく必要がある。皆さまからいただいた意見では、配布文章は見やすいと思うが、活動の雰囲気や感想など伝わってこない面もある。相談の部分では、事業所だけでは解決できなくても気楽に相談ができればよい。その後に相談機関である地域包括支援センターに繋げたり、みやざわ苑として、もしくは法人として取り次ぐような解決に向けて取り組む窓口として気楽に相談ができればいいと思うという意見をいただいております。改善計画ですが、定期のミーティングで運営推進会議で出た意見や課題の情報共有と確認を行い、改善解決に向け取り組んで行くことと立てました。

F「事業所の防災・災害対策」です。取り組・結果についてですが、災害時の避難方法や役割などを記載した防災基本事項を作成し、掲示しました。また、回覧広報誌に事業所の災害時の役割を明記しましたが、浸透には至っていないと上がりました。皆さまからいただいた意見では、マニュアルはあると思うが、職員の伝達方法など基本的なことを、まずはしっかりと欲しい。備蓄としては事業所だけの話ではない。法人全体としての考えが必要。改善計画は、引き続き取り組みを理解してもらえよう、回覧チラシでの発信を継続。分かりやすくして掲示することを継続して行く。定期的に各個人個人で役割の確認を行い、緊急時の対応に備えると立てました。

グループホームサンホーム施設長

今報告のあった中身というのは、前回いただいた資料が基になっているのでしょうか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

Aの事業所の自己評価のところは、職員一人ひとりが自己評価を行い、それを事業所としてまとめたものを皆様から見ていただくと同時に、B～Fの各項目を皆さまから意見や感想をいただいたものが関わりシートになります。

グループホームサンホーム施設長

本当に詳しく評価されていますので、よくやられているなと感じました。今報告していただいた様式がPDCAにはまっていますので、最後の改善計画が翌年の計画になるということでPDCAできちんと回っていると、とても良いと思いました。

小規模多機能型居宅介護管理者

様式は全国共通様式です。小規模の評価はこの様式でということで決まったものになります。

今回、これでよろしければ事業所の自己評価と総括表を長岡市と地域包括支援センター、ご家族に送付し、公表させていただく流れになります。総括表はこれでよろしいでしょうか。

改善計画は職員で共有しながら進めていきたいと思います。バランスを取りながら、確認しながらより良い事業所になるように取り組んで行ければと思います。何かご意見がありましたらいつでもご助言いただければと思っております。ありがとうございました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

地域包括支援センターから、他の事業所の外部評価について何か情報がありますでしょうか。

地域包括支援センターとお

大体皆さん、同じような課題を持っていらっしゃると思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

3番の小規模多機能型居宅介護事業所評価総括表の確認作業ですがこれでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

#### 4. その他

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

4番その他になりますが、1番最後の14ページに来年度の運営推進会議の予定を同じような日付と内容での案です。私ども運営推進会議は3事業所が一緒になって年6回というところで行っています。私は、グループホームサンホームさんの運営推進会議に出させていただいていますが、みやざわ苑は、サンホームさんのような1事業所に突っ込んだ内容になりにくいところがあります。内容と日程につきましてご意見などありますでしょうか。

法人代表（いずみ苑園長）

アンケート調査の結果というのが準備して起案が上がってきていますが、運営推進会議ですののでできるならば事前に、このような質問の内容で取り組んで行くということを運営推進会議で提案して、皆さんからご意見を聞いたうえで、行った方が良かったのかなと思います。せっかくご家族やご利用者からアンケートを取るわけですので、その方がより良いアンケートになるのかと思います。結果をお知らせするだけでなく、事前に内容を確認していただいたうえで結果をお知らせする方がより良い事業運営になるのかと思います。今年度は準備していると思いますので次年度以降という考えでお願いします。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

皆さんから確認していただいたうえで良いものにしていきたいと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区民生児童委員）

アンケートは毎年内容は変わっているのでしょうか。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

あまり変えると比較が分からなくなると思ひまして、過去2回は同じで、今回も文言が変わっているくらいで内容は変えていません。

法人代表（いずみ苑園長）

3年が過ぎますので、初めと3年後の内容が若干違ってくると思います。また、ご利用している期間が長かったり短かったりすると生活の過ごし方が違ってくると思いますので、考慮した方が良いでしょう。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

そのようにしていきたいと思います。地域包括支援センターから何かコメントをいただけますでしょうか。

地域包括支援センターとお

避難訓練に参加していますかという項目がありますが、内容の中に一度設けてみるのも良いのかなと思いました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ありがとうございました。それも検討したいと思います。

法人代表（いずみ苑園長）：林 衛

サンホームさんにお聞きしたいのですが、この運営推進会議を年6回行っていますが、内容的にうちはこことは違うことをやっていますとかありますかでしょうか

グループホームサンホーム施設長

そんなに大きく違いは無いです。今回感心したのはスライドで日頃のようすとから見られるのは良いものだと思います。

法人代表（いずみ苑園長）

法人の公益的取り組みを一生懸命しなさいといった形で言われていて、具体的な提言とか話をする機会を設けているといったことは無いですか。

グループホームサンホーム施設長

特にないです。いずれはそのような形でやっていかなければと思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

時間が少し過ぎましたが、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。

地域住民代表（栃尾宮沢区民生児童委員）

ここができて丸3年ですか、入居者さんは3年くらいいる方もいらっしゃるのでしょうか。小規模やグループホームから移られる方もいるのでしょうか。

↓

事務局

数名の方がいらっしゃいます。定員29名で最初からの方は5～6名位です。短い期間の方では半年の方もおられました。グループホームから特養に入居された方は数名おられます。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

1年で3分の1くらいの方が亡くなられて入れ替わっております。

運営推進会議の日程はこの線で行きたいと思いますが、内容案は次の運営推進会議ではか  
りたいと思います。お願いいたします。

議題としては以上です。最初にお聞きすればよかったです。小規模とグループホームの  
スライドはいかがだったでしょうか。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

心身ともに日が経つことに徐々に衰えていくわけですが、そのなかで頭を使ったり指先  
を使ったりいろんなことをしているんだなと思いました。ありがたいと思っています。いろ  
いろ大変だとは思いますがよろしくお願ひします。

長岡市栃尾支所市民生活課

スライドを見させていただいて、食事を見ておいしそうだと思いますし、手が込んでい  
るなと感じました。写真の中で笑顔も現れていたのが良かったです。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

紙だけだと分かりにくいということで、適度に映像を見ていただくことを増やしていきた  
いと考えております。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

良く分かってとても良いと思います。ありがとうございます。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

日程としては以上となります。皆さんいかがでしょうか。

次回は4月19日、13時30分で皆さまよろしくお願ひいたします。

本日はありがとうございます。

○ 第17回運営推進会議開催日について

平成30年4月19日（木曜日）13：30～14：30終了の予定